

母校新聞班 0B 会開催 2月8日 新橋にて

中山正光(11組)

立春が過ぎたとはいえまだ寒風がきびしい2月8日(金)夜、新橋の広東料理店「廣豊楼」に上田高校新聞班 0B12名(62期から65期)が集まり、懇親を深めました。

当夜は、今年の1月2日に急逝された同期の長谷川英人君(8組、彼は新聞班班長)を偲ぶ会を兼ねての集いでもありました。黙祷のあとに、献杯をしました。

生前の長谷川君の活躍の話もあり、きっと彼も喜んでくれることでしょう。

遠路は台中市(台湾)を初め、新潟市、名古屋市、上田市、高崎市からの参加もあり、卒業以来の再会も多々みられました。顔ぶれは、片山隆行、小須田光一(62期)、西沢文昭、山浦善樹、西沢文登(63期)、久保田英二、佐藤弘徳(64期)の先輩と、65期は澤井繁男(7組)、中村宣夫(7)、佐藤昭二(10)、柳沢修一(10)、中山(11)の5人でした。

豊富な経歴経験と沢山の話題をお持ちの多士済々の方々ばかりで、もっと話したいところでしたが3時間の集いもあっという間に終わってしまいました。

最初は支障のない話でしたが、盛り上がるにつれ、政治、経済、金融、社会、教育、文化、原発、日中・日韓問題などが俎上に乗り、さすが新聞班 0B を彷彿させるものだと感心していましたが、次第にお決まりの「高校時代の活躍や自慢話、染谷丘高校や小諸高校女生徒との交流」の話などに発展し、盛り上がりました。

最後は、小須田さんの「信州一本締め」で次回の再会を約し、名残惜しくも散会となりました。

次は、同期で参加出来なかった松崎伸一(6)、小出俊(11)、小瀬澄子(11)の面々も含め、更に盛会となることを期待しています。

(2月9日記)

【写真説明】

後列左から中山、中村、澤井、佐藤、一人とばして柳沢

